

## 土木学会で優秀賞受賞！

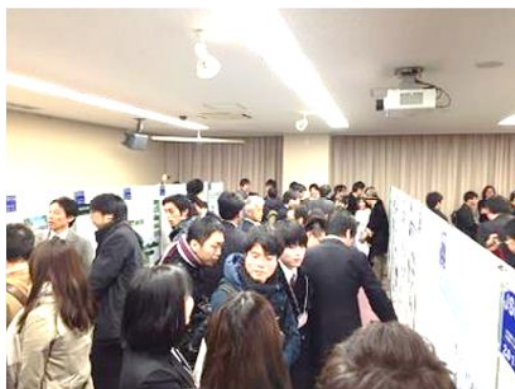
昨年12月に行われた、公益社団法人土木学会の「第10回景観・デザイン研究発表会」にて、寒地土木研究所(岩田研究員、松田総括主任研究員)と井上事務局長がコラボさせて頂いたポスター「無電柱化事業の課題と今後の技術開発について」が優秀ポスター賞に選ばれました。

この表彰制度は、景観・デザイン研究発表会において、

○35歳以下の者が発表した講演のうち、優れたもの。○A(デザイン作品)部門、B(計画・マネジメント)部門の講演のうち、優れたもの。○優れたポスター発表を行った発表者を表彰し、研究活動及び実践活動への意欲向上に役立てることを目的として定められているものです。なお、発表会では大学、研究機関、国や地方の行政、民間企業などの関係社が参加し、まちづくりの取り組みや景観に関する様々な研究に対して活発な議論が行われたということです。



△発表者(左から松田氏・岩田氏・井上氏)



△見学者で賑わうポスター発表会場

「美空」に載せてほしい事、調べてほしい事などがありましたら事務局までお送り下さい！  
皆様のご意見、お待ちしております！ tel:06-6381-4000 Fax: 06-6381-3999

無電柱化に関するコラム・情報を月2回メールマガジンで配信しています！  
ぜひこちらもご登録下さい！ → <http://www.mag2.com/m/0000266000.html>



日本の空を安全で美しく！

# 美空

## 第76号

# ～MISORA～

発行日:2015年1月31日(土)

発行者:NPO 法人電線のない街づくり支援ネットワーク

理事長 高田 昇

### 【活動報告】

1 月度理事会…2015年1月30日(於 COM計画研究所)

◆技術開発委員会:井上(了)理事:神戸市岡本での、モデル断面の作成のため、図面の請求中。国交省意見交換会

◆世論形成委員会:木村副理事長:見本市の開催。東京・大阪合同理事会開催。

◆事業協力委員会:高田理事長・井上事務局長:小学生向け「人と街にやさしい無電柱化出前授業」報告、J-WAVE ラジオコメント、無電柱化推進展、日東電工様来局、寒地土木研研究所論文共著・研究テーマ、TBS 噂の東京マガジン取材、NHK 社会部取材、三条通り京都新聞

◆その他:新入会 法人会員 コスモスイニシア様 個人賛助会員 江坂純子様(参考・既入会 法人正会員14社 個人正会員15名 法人賛助会員6社 個人賛助会員6名)、理事会参加メンバーについて、技術開発の際の外部機関委託の件

◆東京活動委員会報告:井上事務局長

■東京活動委員会…2015年1月20日 25名参加

◆新入会員紹介、理事会報告、東京フォーラム申込み状況、無電柱化民間プロジェクト協賛の件、交流会「ベルマーレ」、司会:尾形明美様、設営手伝い、欧州無電柱化視察

◆話題提供:高山会員「東京の住宅地・分譲住宅の先進事例の紹介」(2回目)

次回:2月17日(火) 経団連会館8階住友林業会議室



△東京活動委員会の様子

日本の電柱の現状について感じる事を1500字程度で書いてお送り下さい、掲載させていただきます。自己紹介(お仕事、住所等)と顔写真を添えて下さい。お待ちしております！事務局

最新情報はHPで <http://nponpc.net/> フェイスブック <http://www.facebook.com/NPONPC>

## 無電柱化と防災～仙台市の取組

1月17日で阪神淡路大震災から20年。震災時1万本を超す電柱が倒壊。今回は、被災した自治体ではどのような取り組みがされているのかについて、東日本大震災で被災した仙台市都市整備局総務課庄司様に取材を行いました。(一部省略)

Q 防災に関する無電柱化について、どのようにお考えですか？

A 本市においては、復旧・復興に全力で取り組んでいることから、復興計画期間である平成27年度までは原則として新たな道路事業の着手は見送ってきたところ。無電柱化事業についても同様の状況であり、平成21年度からの東北地方無電柱化推進計画において実施を想定



△震災による被災状況(仙台市HPより)

していた路線についても、新規の着手を見送っているのが実態です。現在、復興計画期間の完了が見えてきたことから、その後の道路整備の進め方について検討を始めたところであり、震災の経験を踏まえ、防災への対策がさらに重要な観点になっていくことは間違いないと考えています。しかし、無電柱化事業については、防災に資する重要な事業の一つである一方、整備コスト等の面で課題もありますので、費用対効果等を勘案し、他の事業も含めた市全体での優先順位を踏まえながら、検討してまいります。

Q 住民の理解や費用等、現在障害となっているものについて、今後こうなっていけば無電柱化に挑戦できるとお考えになっている点をお聞かせ下さい。

A 今後、無電柱化を実施していくためには、施工費・管理費や、電線管理者との費用分担の考え方など、コスト面においてより縮減が可能となり、無電柱化が防災対策として他の事業に比べ有利なものとなってくれば、本市として無電柱化事業に取り組みやすくなるのではないかと考えています。

\*\*\*\*\*

## 新見市の取組～光ファイバーの下水管敷設～

突然ですが、新見市を皆さんご存知ですか？岡山県の西北部、吉備高原上に位置する人口約3万人の市です。実はこの新見市は無電柱化推進の参考になるヒントを秘めています。今回、その謎を解明するべく新見市建設部都市整備課柿田様に取材を行いました。

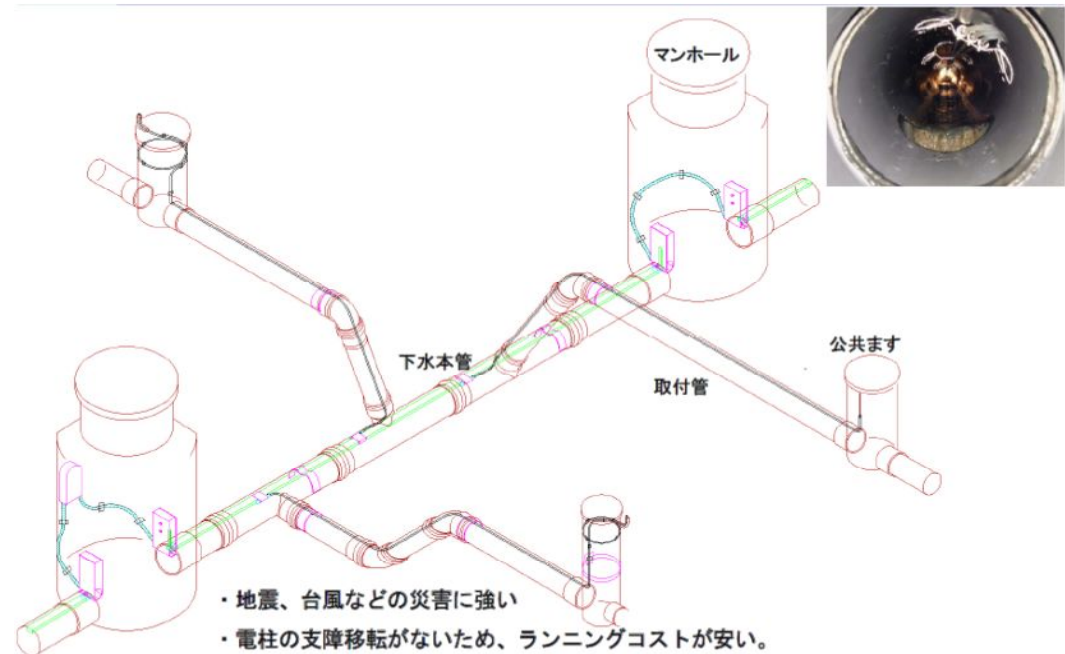
Q 新見市では下水道管に電線類を配管しているというお話を伺いました。具体的な事例を教えてください。

A 本市では無電柱化を行った地域はありませんが、光ファイバーを下水道管の中に入れて、地下から各戸に配線しています。戸数としては約3,500戸になります。光ファイバーを利用して、

- ・音声告知端末(市からのお知らせ、ラジオ、非常時の緊急放送)
- ・ケーブルテレビ・インターネット、IP電話のサービスを行っています。

この計画の背景として、市内7割が難視聴地域であり、高速通信による都市部との情報格差の是正が目指されること等がありました。また、告知放送に加えて、緊急通報や安否確認の機能として、音声告知端末が使用されるようになったそうです。音声告知端末は、市から貸与設置されるものですが、その前提となる光ファイバーを宅内へ引き込む際には利用者の負担金が必要となります。また、市のHPには、ワンマイルを使うことによって生じる月額料金を簡単に計算出来るページがありました。また、光ファイバーの敷設(下水道管渠利用)のメリットとしては、(1)地震や台風**に強い**(2)電柱の支障移転がないためランニングコストが安い(平成11年度から整備を始め、支障移転にかかった費用は0円)が挙げられます。コストや技術面でも無電柱化の参考になる事例だと考えられます。一度新見市のHPをご覧ください。是非は如何でしょうか。

<http://www.city.niimi.okayama.jp/docs/2012031500464/files/6.pdf>



△光ファイバ敷設イメージ(下水道管渠利用)